

自分の学習時間を確保できる、大切な期間の始まり

期末テストが終わり、自分の学習に集中できる時期となりました。英語の授業で説明したように、この「2年生冬」という時期は3年1学期に比べて比較的学習時間を確保できる時期です。ここでしっかり取り組んで内容的にも学習時間的にも自信をつけるか、「やっぱり次に」と先延ばしにするかはすべて自分次第です。自分の行動に、必ず結果はついてきます。頑張りましょう。

まずはテストの振り返り:自分の苦手を把握する

何をすればいいかわからない、との声をよく聞きます。まずこの週末は2学期期末テスト振り返りからスタートしましょう。

- ①なぜ間違えたかを丁寧に分析する:未習得なのか、覚えているのに問題をきちんと見ずに間違えてしまったのか、計算ミスをしてしまったか、など。
- ②自分に不足している力を把握する:覚えていないこと、理解できていないことが何かを把握して、対策を考える。

また11月進研模試の答案返却が近日中にありますので、期末テストと同じように振り返りましょう。

自分の学習は主体的に自分で決める

学校や塾で言われたことをそのまま学習として進める、考えない人間になっていませんか？小テストがあるから、宿題だからと言われたことをこなすことは、自分にとって有益な学習と言えますか。上記のようにテストや模試の振り返りをするだけでも、自分の苦手や得意を客観的に捉えることができます。自分にとって必要な学習を、「主体的に」計画して実行しましょう。

学校で課されているテストや課題は、実力をつけるために必要だから課されています。自分の学習に上手に組み入れて、習得を確認するような目安として上手に利用しましょう。

長期休みの学習を充実させるヒント

夏休みの学習を充実させるヒントとして1学期終業式の学年だよりに書いたことを、もう一度伝えておきます。

- ①1日 10 時間以上の学習を継続してみる。
→長時間の学習に耐えうる体力をつけよう。
- ②1日をざっくり4つに分けて学習する
→午前中(3h)、15時まで(2h)、夕飯まで(3h)、就寝まで(3h)
- ③長期目標と、その目標を達成するための短期目標を計画する。
→各受験科目において、長期目標と週単位程度の短期目標(やるべきこと)を明確にしましょう。
- ④1日の学習計画を細かく決めすぎず、最低限やりたいことを決める。「雨が降ったからランニングはなし」のような成果ゼロにならないように、代案も用意する。



みなさんの令和6年度共通テストまであと400日となりました。

受験を自分の人生における新たな挑戦ととらえて、力いっぱい努力してみてください！

12月の予定

12月 9日(金) -12日(月) テスト返却特別日課

☆冬休みの学習予定表が配布されます。課題も含めて計画を立ててみましょう。

☆模試の返却について、解答の確認だけでなく、記入した志望校についても振り返ってみましょう。

合格ラインを使って、今の自分の力で実力相応の大学はどこか、第一志望までは何点不足しているのか(国数英)も見ておきましょう。

12月 13日(火)-19日(月) 平常日課

12月 14日(水) CT中間発表会

12月 20日(火) 短縮 40分日課×6(理数科は7)

12月 21日(水) 短縮 40分日課 ①②④⑤⑥+CT

12月 22日(木) 短縮 40分日課 ①②⑤⑥+LHR

12月 23日(金) 終業式

1月 6日(金) 始業式 実力養成テスト

新春かるた会①

1月 10日(火) 月曜日課 新春かるた会②



英検の受験対策で、英語の実力も伸ばそう

テスト期間中、現3年生私大の受験について、校内の先生方で検討会を行いました。3年生の多くは英検を持っていて、大学受験での活用を予定しています。

現在多くの私立大学で、英語外部検定試験(英検、TOEIC など)の結果が活用されています。

活用方法としては、

①出願資格:英検準2級以上などの資格を持っていないと出願できない、

②得点換算:資格のレベルやスコアに応じて、共通テストや個別試験の点数に換算される。

例えば英検準1級なら満点換算(試験免除)英検2級なら80点換算、など、

③加点:資格のレベルやスコアに応じて、共通テストや個別試験の点数に加算される。

例えば英検2級なら総合点に10点プラス、など、

④判定優遇・合否参考:1次試験や最終選考で優遇が得られる。

例えば英検2級以上=合否判定の参考とする、などがあります。

また、英検に関して、受験方法は2種類から選べます。

	従来型	S-CBT型
難易度等	問題構成、問題形式、難易度は同じ	
会場に行く回数	2回 1次試験と2次試験	1回 4技能を1日ですべて終わらせる
受験方法	問題冊子を見て紙に書いて答える。ライティングは打つか書かかを選択。スピーキングは面接官と対面で話す。	パソコンの画面を見て紙に書いて答える。スピーキングは画面の指示に従って音声を録音する。
受験機会・場所	年3回(コロナが落ち着いていれば、近隣会場で受験可能)	ほぼ毎週開催(パソコン設備がある、浜松駅徒歩圏内での受験となっている)
受験料	準1級:10,700円、2級:9,700円 準2級:9,200円	準1級:10,200円、2級:9,200円 準2級:8,700円

今の皆さんなら、準1級、2級の実力がついています！ぜひチャレンジしてください。また、その他 TOEIC や TOEFL など英検以外の検定試験については、英語科の教員に聞いてください。